

① 永久的な水の確保のために

西オーストラリア州の貴重な水資源の関連事項を管轄する、水資源省 (Department of Water)のPaul Frewer 氏に昨年の雨量不足を受け、これからのパースの水事情について伺いました。



Photo courtesy of the
Department of Water

Department of Water
A/Director General
水資源省長官
Paul Frewer 氏

昨年のパースの降水量をどう思いますか？



昨年は、降水量が少ない乾燥した年でした。他州の都市と比べて、パースはまだ水の供給不足という問題はありません。しかし、人々の需要に対する対応がとても大切だと考えています。現在行われている、週2日間のスプリンクラー規制もその1つです。

現時点で貯水量が30%未満のダムについてどのように考えていますか？



実際、夏の間、全体の60%の水は地下水を利用しています。ですので、ダムの水以外にもパースには水源がある、ということ覚えておかなければいけません。また、Water Corporationが設立した海水淡水化プラント(下記参照)は、環境の変化に関わらず、水を供給できるようになります。西豪州政府によるこのような取り組みは、パース付近のダムや川の水への依存を少なくし、他の様々な方法で水の供給の安定性を図っています。また、水の再利用や人々の水への関心を高めるなどして、水の保護を目指しています。

もし、2007年も降水量が少なかった場合、飲み水にはどのような影響がでますか？



将来の人口増加等による需要増加への様々な対応や、現在の供給と需要のバランスの良さを考慮すると、飲み水への影響はないと言えるでしょう。しかし、定期的なリサーチを続けることが大切です。もし今年の雨量が極めて少ない場合や、他に大きな変化があった場合は、需要に対して、別の対応も考えなければいけないと思います。

読者にメッセージをお願いします。



パースは、とても乾燥した地域に属しています。西豪州政府は、将来的に持続可能な水の供給に懸命な対応をしていますが、一般の方々も水はとても貴重な資源ということを再確認し、水の使用に十分注意して欲しいです。